



本日から11月に入り、朝夕の気温もぐっと下がってきました。天気概況によると、これからの3か月間は平年か平年を少し下回るような気温となるそうです。11月4日(木)は5年生の自然教室、11月16日(火)にはコロナ禍で延期していた運動会(体育科授業公開)が控えています。今週からは体育の授業を使って、運動会の練習が少しずつ始まっていきます。子どもたちが精いっぱい活動ができるように、秋晴れの暖かい日が続くことを願っています。

日暮れが早くなり、学校では11月から17時を過ぎて校庭で遊んでいる場合は声かけをさせていただきます。ご家庭でも「誰と・どこで・何時に帰宅するか」等、外出時の確認をお願いします。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



道徳の研究授業を行いました(1, 5年)。

10月29日(金)に、『令和3年度道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 四日市市教育委員会指定教育研究推進校』として、1年2組、5年1組で道徳の研究授業を行いました。県教委2名、市教委2名、大学からの助言者1名、中学校区教職員6名の方が、外部訪問者として参加し、本校の道徳授業を参観していただきました。授業後の研修会では、さまざまな視点からご意見をいただき、大学の助言者からは、『考え、議論する道徳』について、大切な視点についてのご講演をいただきました。1年2組では「はしのうえのおおかみ」、5年1組では「セルフジャッジ」という題材を使って授業を行いましたので、あらすじを紹介します。

◇「はしのうえのおおかみ」あらすじ 親切、思いやり◇

一本橋をおおかみが渡ろうとしています。うさぎやきつね、たぬきが通ろうとすると、「もどれ、もどれ」と、どなって自分が先に通りました。

ある日、おおかみがいつものように渡ろうとすると、大きなくまが渡ってきました。おおかみは下がって譲ろうとしましたが、くまは、おおかみを持ち上げて後ろにそっと下ろしました。

次の日、おおかみはうさぎにも同じように体を持ち上げて、後ろにそっと下ろしました。

不思議なことにおおかみは前よりずっといい気持ちでした。

◇「セルフジャッジ」あらすじ 規則の尊重◇

休み時間に、審判なしでサッカーのゲームをして遊んでいた子どもたちですが、次第にルールを守らない人が出てきてゲームがおもしろくなくなり、数人がぬけていってしまいました。ゲームが終わって、ふとわれに返ったぼくは、どうしてゲームがおもしろくなくなったのかを考えました。そして、「セルフジャッジ」って、かっこいいことばだけど、じっさいにそれを実行するのはむずかしいな。と、ぼくは思いました。

子どもたちは一所懸命主人公に思いをはせて、感じたことを出し合い、話し合っていました。ご家庭でもぜひ話題にして、子どもと話をしてみてください。

収穫の秋です。サツマイモ掘りを楽しみました。

地域の「園芸ボランティア」の方々力を借りながら、世話を続けてきたサツマイモを、きょうだい学年で先週収穫しました。表面にあるサツマイモのつるをとった後、移植ごてを使って、つるの根元を掘っていきました。思ったよりも深いところにサツマイモが隠れていました。手で抜けそうなところまでサツマイモの周りを掘り進め、上級生は最後、低学年の子に抜かせてあげていました。「抜けた!」「おっかい!!」あちらこちらで、子どもたちがとびっきりの笑顔で歓声をあげていました。

今年は、園芸ボランティアの皆さんがたっぷり肥料を入れていただいたおかげで、大きい実のサツマイモが収穫できたようです。(文責 北住 昌文)

